



European
Commission

持続可能な産業

欧州グリーンディール

2019年12月
#EUGreenDeal

EUの気候と環境に関する目標を達成するには、**循環経済に基づいた新しい産業政策**が必要です。



- ▶ 1970年から2017年までの間に、世界の年間原料採取量は**3倍**になり、今も増え続けています。

出典：国際資源パネル
「Global Resources Outlook」
2019年



- ▶ 生物多様性の喪失と水ストレスの問題の**90%**以上は、資源の採取と加工が原因で生じています。

出典：国際資源パネル
「Global Resources Outlook」
2019年



- ▶ EUの産業はEUの排出量の**20%**を占めています。

出典：欧州委員会
「EU気候行動進捗報告書2019年」



- ▶ EUの産業で使用される原料のうち、リサイクル材の割合は**12%**しかありません。

出典：[ユーロスタット](#)（EU統計局）2016年値

2020年3月、EUはグリーン転換を支援する産業戦略を採択します。

- ・ EU域内外で産業を**現代化し、さまざまな機会を活用する**ために必要な支援の提供
 - ・ 主な目的は、**気候中立で循環する製品のための新しい市場**の開拓の促進
- 鉄鋼やセメントなどエネルギー集約産業**の脱炭素化と現代化が不可欠です。

欧州委員会は、2030年までに鉄鋼業の炭素排出量をゼロにする支援策を提案します。

新しい循環経済行動計画は、EU経済の現代化に寄与します

欧州委員会は、「持続可能な製品」政策を発表します。同政策では、再資源化（リサイクル）以前に、資材の削減と再利用に重点を置いています。そして環境に有害な製品がEUの市場に出回ることを防ぐため、最低要件を定めます。また環境偽装の問題に取り組みます。

まず重点的に取り組むのは、以下のような資源集約的な部門です。



繊維



建設



電子機器



プラスチック



欧州委員会は、2030年までにEUで使用される全ての包装を再利用またはリサイクル可能にする施策を提案します。



物やサービスのレンタルに基づく新しいビジネスモデルは、製品の使い捨てや限定的な使用という消費傾向からの転換に寄与します。

▶ 欧州では、持続可能性とグリーン成長を中核とするデジタル部門が求められています。デジタル化により次のような新しい機会が生まれています。

- ・ 大気や水の汚染の監視
- ・ エネルギーや天然資源の消費傾向の監視と最適化

▶ 欧州委員会は「テイクバック（製品回収）」制度の消費者へのメリットを検討します。

これにより、携帯電話やタブレット、充電器をリサイクルするために、消費者が機器を返却することを奨励します。

こうした移行は、持続可能で多くの雇用を生み出す経済活動を育成する機会となります。

